

令和元年度 西糀谷しろはと保育園事業報告

1. 概要

①運営報告

- 災害対策では夏の異常気象による熱中症対策や大型台風対策の危機管理マニュアルの見直し、さらには年度末の新型コロナウイルスの対応で衛生管理や指導など様々な災害を想定した園の運営や保育の見直しが必要となりました。
- 東京都の「働きやすい職場宣言」を申請し認可されたことで、職員の産休や育児休暇の取得と復帰後の働き方を考えて離職防止に努めています。非常勤職員を活用し勤務可能な時間帯を検討すると同時に、保育事務の負担軽減を考えIT化を検討していきました。
- 職員の基礎力をあげるために、運動遊び、危機管理、子育て支援、要支援児、乳児の食事など、専門職に指導を受けながら学びました。さらにキャリアアップ研修に参加し職員の資質向上に努めました。
- 東京都の木育推進事業を継続し活動計画を立て取り組みました。子どもの自然への興味関心を広げるとともに職員の知識の向上、そして保護者や地域も巻き込んだ活動をすることで、園の興味や木育事業への関心を広げることができました。

②定 員 129名

③事業日数 295日（年末保育の12月29、30日を含む）

④開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
年末保育期間 8時30分から18時30分

⑤保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑥職員数 園長 1名、主任保育士 1名、保育士 19名
パート保育補助 7名、看護師 1名 嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む
- 保護者と信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさのある子

④クラス編成及び職員配置

| | | | | |
|-----|----------|-----|-------|-------|
| 0歳児 | おたまじゃくし組 | 12名 | 保育士4名 | 看護師1名 |
| 1歳児 | めだか組 | 18名 | 保育士4名 | |
| 2歳児 | かに組 | 24名 | 保育士4名 | |
| 3歳児 | かえる組 | 25名 | 保育士2名 | |
| 4歳児 | とびうお組 | 25名 | 保育士2名 | |
| 5歳児 | くじら組 | 25名 | 保育士2名 | |

主任保育士1名

障害児担当加配保育士 2名（有資格者・パート）

早朝・延長保育担当保育補助4名

園児 計129名 保育士

⑤保育内容

- 保育過程から全体的な計画をたて「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性など」の資質や能力の3本の柱を中心に保育を行いました。また子どもの姿を捉えた環境構成や援助の仕方など、小グループでの環境保育を行なうことで子どもたちは安定して過ごすことが出来、発達や安全面を考えた遊具や保育環境の見直しも行ないました。
- 子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊び(3回)と週1回の体育遊びを日々の積み重ねとして丁寧に取り組み継続しています。
- 地域の子育て支援を重視し中学生との交流・お年寄りとの交流など、日常保育や行事、夏休みなどの機会を利用し交流を深め地域の発展に貢献し、さらに研修や交流を中心に幼保小との連携に努めました。また、地域小学校の作品展へ出品したことで学校への興味が広がりました。
- 子どもの人権については、日常保育の中から子ども同士のトラブルや人とのかかわりなどを通して、朝の会や帰りの会の時間を利用し子ども同士で考える。また保育士の言動などを振り返りながら話し合う機会を設けていきました。

- 食育計画に基づき、給食委託事業者と連携を図り、子どもへの食への興味や関心を深め、命の尊さを感じることが出来る保育、食べる喜びを満喫し、食についての知識を広げることをめざしてサンマの食材の育成についてパネルを使って学び、日本の伝統行事を中心に調理業者からの指導を仰ぎ、給食づくりへの参加（定期的な野菜の皮むきやおにぎり作り）や夏野菜を栽培してそれを食材にするなど、食への興味を広げるようにしました。
- 木育活動では「自然とのふれあい」「ものづくりを通して仲間づくりや体作りを大切に」に生きる力を育てる事を目標に活動をする

| ソフト事業ワークショップ | | |
|--------------|----------|---------------------------------|
| 7月 | スプーン箸づくり | ¥527,272 東京都補助 (¥228,636) |
| 10月 | バードコール作り | |
| 1月 | 丸太切り | |
| 2月 | 花壇づくり | |
| 2月 | 森林遠足 | |

東京都産業労働局農林水産部森林課の事業として、木育活動を取り入れており、補助金を受けてから3年間継続して報告するようになっていますが、今年度も新たに補助金を受け親子での活動や年長児を中心とした活動を実施し、子どもたちの興味関心を広げることができました。

⑥家庭との連携

- クラス懇談会（年2回）、個人面談（年1回、また随時受け付ける）、保育参観または保育参加を（年1～2回）実施し写真やスライドを利用して日常保育の様子を知らせ保護者同士のつながりや子育て情報の共有を図りました。また、年度末に2.3.4歳児を対象にエールの運動遊びやふれあい遊びを親子で実施したことで、からだ作りや親子のコミュニケーションについて保護者が考える良い機会になりました。
また、保護者と共に個々の育ちを確認し年間目標を立て、年度末には結果を見直し次年度の目標にする「すくすくプラン」など計画的な取り組みをしました。
- 保護者からの要望や意見は、日常の保育に関すること、行事や保護者会の後に必ずアンケートを実施し、保護者のニーズを把握するとともにその集計結果は保護者にフィードバックすることができました。また年度末には利用者アンケートを実施し保護者の意見をまとめて結果や今後の対応について知らせることができました。
- 保護者の危機管理意識を高める為に、園主催の防災研修（1回）に参加して頂くと同時に定期的に防災や減災について園の方針を保護者会やおたよりを利用して口頭や文書で伝え、協力の依頼をしました。

⑦専門機関との連携

- 視覚障碍児への指導として、筑波大学の名誉教授より年3回の指導と発達支援をお願いし発達の確認や就学に向けて進めることができ、筑波国立視覚支援学校に入学が決定しました。
- ピエールロバン症候群の子どもが、区立から民間の支援を仰ぐようになり情報交換や観察、指導、など連携を取るようになりました。

- 就学前の子どもについて自閉症スペクトラムの心配があり、専門機関で定期的にカウンセリングを受けることになり、親の了解のもと園との情報交換、確認をおこない保育を進めることができました。

⑧人材育成

- 大田区主催の職場研修や施設見学に参加するとともに、心理の先生による子どもへの関わり方を学びながら巡回相談、集団巡回（3歳）、作業療法士による指導（2歳）、視覚障害保育へのアドバイス（年3回）など子どもを通して学ぶ機会が多くありました。そして、全体職員の研修では子どもの遊びについて（1回）エールの体育遊び研修（3回）とweb研修（1回）、就学に向けての研修（1回）防災研修（1回）と幅広く研修で学ぶことが出来ました。また、今年度は区の栄養士による離乳食の指導を給食事業者や保育士に依頼したことでより、離乳食について学ぶことが出来ました。
- キャリアアップ研修への参加が求められ、障害児研修（3名）、子育て支援（5名）乳児研修（3名）幼児研修（1名）と計画的に参加することができましたが、研修実施機関が少なく申し込みに苦慮しました。
- 保健年間計画を基に、看護師が年1回感染症やAEDの使用方法について訓練しました。また大田区の防災課に依頼し危機管理について研修を実施するとともに、おう吐処理、手洗い指導などシミュレーションをしながら職員の意識向上に取り組みました。新規採用の1名のみ救急法講習会に参加し、これで全員取得ができました。

⑨地域の実態に対応した事業

- 出張所や児童館の掲示板を活用し、また地域の親子が情報収集しやすいようなホームページでお知らせし、子育て支援についての情報発信を行ないました。パートナー登録（79名）よちよちタイムへの参加（82組）の参加がありました。大田区の補助金を活用したことで、人形劇やチェロ、バイオリンのコンサートなど内容を充実することが出来ました。毎年参加者が増えています。
- 地域のお年寄りとの交流を定期的に行い、バイオリンコンサート、焼き芋、新年子ども会、ひな祭り、さんまなど平均5～6名の参加がありお互いの相乗効果がみられ良い交流ができました。
- 公立保育園との三園交流を5月から1月の間毎月1回、年間8回実施しました。ドッチボールやかけっこなどの運動遊びやゲーム遊び、劇遊びの見せ合いなどを取り入れ、一年間交流できたことで子どもたちの新たな仲間づくりができました。今年度は、コロナウイルスの影響で、2月からの交流を避けたので、地域小学校別の活動が少なくなりました。また、反省会も文書での意見交換のみにしました。
- 保育人材確保育成（保育拠点活動支援）として、中学2年生の体験学習（各学校3日、全員で9日間16名）を実施しました。3月に予定していた交流は中止としました。また専門学校や大学の実習生7校（12名）の受け入れ、東京都の支援員研修（2名）など人材の育成に貢献できたことで東京都の補助金を受けました。また、実習生を受け入れることで、日常の保育を振り返る良い機会になりました。

⑩地域の社会資源との連携

地域行政、民生委員、保健師などと連携を強化し地域連絡会（2回）、歯科衛生士による歯みがき指導（1回）育児困難家庭の支援の為に保健師や子ども家庭支援センターとの連携や関係者会議を実施し保護者の子育てを見守りました。

- 災害時の連携を考えて、新たに梶谷地区子ども地域会議が設置され児童館、幼稚園、保育園、町会、出張所、保育サービス課などが集まり年間2回の会議を行いました。

⑪苦情処理

- 第三者委員2名を設置し、委員の所属、連絡先を記入したポスターの張り出しを行い保護者の苦情に対応しています
- 「みんなの声」と称して保護者の意見箱を設置していますが利用者はありません。苦情や意見を口頭で伝えてくれるような職員と保護者の関係を築くように心がけています。
- 保護者の必要とする情報は、丁寧に繰り返し伝え、クラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任が対応し、クラスと保護者の信頼関係を深めるようにしています。

⑫リスクマネジメント

- 2度の大きな台風を体験したことで、強風や水害への対応など訓練計画を新たに大田区へ報告するとともに、園での土嚢の必要性や室内機器の設置場所など細部にわたり検討しました。
- 夏の異常気象と同時に調理室の空調機の故障が重なり、調理職員の健康管理と食事の安全を考え調理室の室温や換気に配慮する日々が重なりました。また子どもたちの水分補給は時間を決めて実施していくために調理に麦茶をお願いし熱中症対策に気を付けました。
- 大田区で実施している年一回の施設点検（建築、設備）、各クラスの環境の安全面点検を月に1回実施し、職員のリスクマネジメントに対する意識を高めていきました。また、ヒヤリハットの記録の方法を変えて職員がすぐに日常保育の改善策を考えていくようにしました。
- 防災計画に基づいた避難訓練を実施し、万一の大震災、非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法（一斉送信メールの活用など）職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い、食糧や救急用品など備蓄品についての点検を4月と防災の日の9月に実施しました。さらに、備蓄品を年長、年中のみ個人用を購入して頂きそれを非常時に各自持ち避難する訓練を実施しています。また、保護者や職員子どもの防災意識を高める為に大田区区役所に依頼し職員と保護者も含めた防災の研修を1回実施しました。備蓄品を見直していきました。
- 年度末に新型コロナウイルス感染症が流行したことで、園の衛生面を見直し手洗いやうがいの他室内や玩具の消毒と清掃、散歩の自粛など様々な保育環境を考えながら日々見直していくようにしました。
- 食の安全の視点から給食委託業者との連携が必須ですが、保護者も含めたアレルギーの打ち合わせや給食業者との定期的な離乳食の進め方、喫食状況、誤食防止や安全衛生面について確認を行いました。



西糀谷しろはと保育園

令和元年度年間行事

| 月 | 行事 | 保護者参加行事 | 地域活動 |
|-----|---|--|---------------------------------|
| 4月 | 進級式 1日(月) 入園日 1日(月) パネルシアター 造形 19日(金) | 入園日 1日(月) 新入児オリエンテーション 5歳児保護者会 20日(土) 防災講演会 5日(金) | 防災講演会 |
| 5月 | こどもの日の集い 10日(木) (3・4・5歳) 歯科健診 9日(木) サッカー 30日(木) エール運動遊び 21日(火) 造形 23日 パネルシアター 24日(金) | 2歳・4歳保護者会 25日(土) | こどもの日の集い ベビーマッサージ パネルシアター |
| 6月 | 歯みがき指導 6日(木) 人形劇 13日(木) 造形 11日(火) | 1歳・3歳保護者会 19日(土) 0歳保護者会 8日(土) | ベビーマッサージ |
| 7月 | 七夕夏祭り 4日、5日(金) 造形 30日(火) サマーコンサート 23日(火) パネルシアター 26日(金) | 夏祭り | 夏祭り 健康教育 パネルシアター |
| 8月 | 造形 29日(火) | | 水遊び |
| 9月 | 防災の日 2日(月) 造形 10日(火) プール締め 3日(火) ぽかぽか交流会 13日(金) パネルシアター 19日(金) | 引取り訓練 ぽかぽか交流会 | パネルシアター バランスボール |
| 10月 | サッカー 8日(火) 造形 11日(金) 運動会 5日(土) 園外保育 18日(金) | 運動会 5日(土) | 冬の健康指導 バランスボール 運動会 5日(土) |
| 11月 | エール体育遊び 6日(火) やきいも 15日(木) 造形 28日(木) 健康診断 20日(月) トムテ 26日(火) | 保育参加 個人面談 | やきいも 健康教育 バランスボール |
| 12月 | 生活発表会 7日(土) クリスマスコンサート 18日(水) 餅つき会 26日(木) | 5歳児保護者会 7日(土) 生活発表会 7日 | もちつき クリスマスコン サート |
| 1月 | 新年子ども会 10日(金) 造形 23日(金) パネルシアター 24日(金) | おたまじゃくし組保護者会 24(金) | パネルシアター 新年子どもかい |
| 2月 | 節分 3日(金) エール 1日(土) 造形 20日(木) サッカー 17日(月) | 保護者会 2.3.4歳児 1日(土) めだか組保護者会 7日(金) | 節分 |
| 3月 | 卒園式 14日(土) | 新入児健診 4日(水) 卒園式 14日(土) | ひなまつり コンサート |

※ 毎月・・・計測 避難訓練 幼児健診の実施 ※その他 蟻虫検査 歯みがき指導 (年間2回)

※ ボランティアの活用

※造形遊び(月2回)・体育遊び(週1回)・英語で遊ぼう(週1回)実施